令和６年度　学校教育目標等

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 教育局 | 宗谷 |  | 学　校 | 北海道豊富高等学校 |  | 課　程 | 全日制課程 |

１ 学校教育目標

たくましく生き抜く人

たえず学び続ける人

ともにたすけ合う人

２　スクール・ミッション

(1) 《生徒にとって》－通いたい学校－

ア　地域との連携・協働等を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身に付けた生徒を育成します。

イ　ICT等を活用した遠隔授業や個に応じた指導を通じて、自ら学習意欲や基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、自己実現のために努力する生徒を育成します。

(2) 《保護者にとって》－通わせたい学校－

子どもの健やかな成長を望む保護者の願いを踏まえ、保護者と学校との連携により、安心して子どもの教育を委ねられる安全な学校をつくります。

(3) 《地域にとって》－選ばれる学校－

地域の学校として負託を受けつつ地域の貴重な教育資源を生かすことで、地域社会で活躍し、貢献できる有用な人材を育成します。

３　３つの方針（スクール・ポリシー）

|  |
| --- |
| ○育成を目指す資質・能力に関する方針 |
| 【育成を目指す12の資質・能力】ア　真理を尊ぶ力（社会の中で生かせる知識・技能を身に付けた人物）【基礎学力と応用力】　【論理的思考力】　【批判的思考力】　【創造力】イ　学びへの探究と協働する力（自立と共生を目指し困難に対応できる汎用力を身に付けた人物）【対話力】　【状況把握力】　【課題発見・解決力】　【デザイン力】ウ　社会や産業に従事できる力（主体的にものごとに向かう人間性を備えた人物）【規律性】　【実行力】　【リーダーシップ】　【自己調整力】 |
| ○教育課程の編成及び実施に関する方針 |
| ア　基礎・基本を重視し、普通科としてバランスの取れた教育課程イ　大学進学等に対応した教育課程ウ　進路に応じた資格を取得できる教育課程エ　学校内外における教育資源を活用した教育課程 |
| ○入学者の受入れに関する方針 |
| ア　学習活動に真摯に取り組み、基礎・基本の定着に向けて継続して努力できる生徒イ　課題意識を持ち、その課題に対して周囲の人々と協力して取り組み、主体的に解決策を見つけ出そうとする生徒ウ　基本的な生活習慣を身に付け、本校の実践目標「挨拶・清潔・努力」を実行しようとする生徒エ　様々な活動（進学・進路講習、資格取得、生徒会行事、学校行事、校外活動、ボランティア活動や部活動等）に積極的に参加し、自らの夢に向かってチャレンジしようとする生徒オ　地域に愛着を持ち、将来は地域のよき担い手として地域を支えたいと考えている生徒 |

４　指導上の重点事項

|  |  |
| --- | --- |
| 重点目標 | (1) 教員、生徒双方で授業改善に取り組み、主体的・対話的で深い学びへ向かう。(2) 自律心・自己有用感を高め、自ら進んで未来を切り開く力を育てる。(3) 心身ともに健やかな成長を促し、自他の生命尊重の態度を育てる。(4) 「北海道アクション・プラン」を踏まえて、職場環境や働き方の工夫・改善を進める。(5) 「部活動に係る活動方針」を踏まえ、適切な部活動指導・運営を図る。(6) 異校種連携や地域の教育力を生かし、スクール・ミッションの具現化を目指す。(7) 異文化理解や多様な価値観に触れる機会をとおして、グローバルな感覚を育てる。 |
| 学習指導 | (1) 教員、生徒双方が、主体的・協働的で深い学びに繋がる授業を目指す。(2) ICT機器の適切な活用と遠隔授業の有効活用をとおして、個に応じた学習指導を目指す。(3) 「教科・科目の学習活動」と「探究活動」との教科横断的な取組をとおして、スクール・ポリシーが目指す資質・能力を育成する。(4) 「授業改善」「学習の振り返り」「学習意欲」に繋がる観点別評価を実践する。 |
| 生徒指導 | (1) 基本的生活習慣を身に付け、主体的に考え行動できる資質・能力を育成する。(2) 「生徒会活動」「ボランティア活動」「部活動」等の諸活動と「探究活動」との横断的な取組をとおして、スクール・ポリシーが目指す資質・能力を育成する。(3) 生徒・保護者・地域の共通理解のもとで、生徒理解に基づく生徒指導を実践する。(4) 客観的根拠や社会的規準に基づく指導のあり方について教職員相互に研鑽する。 |
| 進路指導 | (1) 「進路相談」と「探究活動」をとおして、生徒の自己理解の深化を図る。(2) 家庭・地域との連携を密にした進路相談の充実に努める。(3) 地域活動への参加や体験的学習の拡充を図り、望ましい勤労観・職業観を育成する。(4) キャリア教育と「探究活動」との横断的な取組によって、スクール・ポリシーが目指す資質・能力を育成する。 |
| 健康･安全指導 | (1) 各種調査やデータ及び日頃のコミュニケーション活動の結果を共有し、計画的・組織的な教育相談活動に努める。(2) 心身の健康と安全について、理解を深め、自ら管理・実践する態度の育成に努める。(3) 清掃活動をとおして学習環境の美化・改善を図り、公共心の育成に努める。(4) 地域や関係機関との連携を密にし、安全教育の充実・改善に努める。(5) 学校教育全体をとおして、自他の生命を尊重する態度を育てる。 |